

徳島市の建築家 新居さん夫妻

受賞したのは、1981年に建てられ2002年にリフォームした住宅。県産杉を使用した木造2階建てで、延べ約190平方メートル。耐震補強した旧住宅の姿をできる限り残し、その周りを一部増築して一面ガラス張りの壁で囲んでいる。



JIA環境建築賞 住宅部門で優秀賞

徳島市国府町中の建築家・新居照和さん(59)と写真右、ヴァサンティさん(53)の同僚夫妻が設

計した住宅が、環境への配慮とデザイン性の両面に優れた住宅を表彰する日本建築家協会(JIA)の環境建築賞住宅建築部門で、第2席となる優秀賞を受賞した。県内の建築家の受賞は初めて。

高性能合併浄化槽で生築。庭には多数の木を植活排水を浄化し、庭の池え、道との境界には目隠しに流す循環システムを構成しを兼ねた緑のカーテン



県内初 02年の設計評価

を設けている。換気にも工夫を凝らし、夏場はほとんど冷房なしで快適に生活できるといふ。

夫妻は「自然とのつながり」や「循環型の住まいづくり」をテーマに、環境に配慮した住宅や施設を多数手掛けています。今回の受賞に「環境技術が日々進歩する中、10年前の建築が今評価されたことは非常にうれしい」と喜んでいる。

賞は省エネや自然共生、継承性などに配慮し、かつデザイン性にも秀でた建物を評価するもので、全国から44点の応募があり、書類審査や現地調査、プレゼンテーションなどを経て入賞作品が決まった。表彰式は31日に東京で行われる。

(中野由梨)

JIA環境建築賞住宅建築部門で優秀賞に選ばれた新居夫妻設計の住宅
徳島市丈六町(新居照和さん提供)